

平成 17 年 2 月 1 日に独立行政法人国際協力機構（JICA）研修「病院管理技術とヘルスサービスマネジメント」で「日本における物流管理」の講義を国立保健医療科学院で行った。

この研修の目的は、発展途上国でのヘルスケア運営システムを円滑に行う知識を養い、発展途上国における人々の健康状態の促進を図ることである。

研修は講義とワークショップの 2 部構成で行われ、ワークショップでは、ケーススタディを踏まえての戦略策定と方法論を PCM（Project Cycle Management）手法で議論した。

まず、ケーススタディで挙げられた 2 つの病院を取り巻く状況を把握し、現存する問題群を「原因-結果」の関係で整理した。そして、これらを解決する方途を検討したうえで協力のアプローチを決定し、アクションプランを作成した。今年度の研修員は、ガンビア、ガイアナ、マレーシア、フィリピン、スリランカ、シリア、タイ、タンザニア、ミャンマーより 10 名参加されており、それぞれの国で医療センター長、衛生管理委員会最高責任者、保健担当官、病院長などのポストに就いている。それぞれの国事情、職務も異なるが大変意欲的に取り組まれていた。